

雨天時、水場での ポリエチレン管のEF接合 について教えてください

Answer

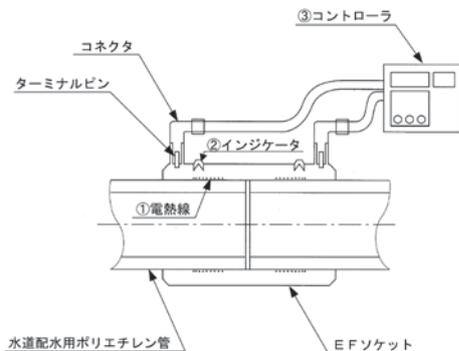
1. はじめに

水道配水用ポリエチレン管の接合には、エレクトロフュージョン（EF）接合が用いられていますが、雨天時に施工する場合には、水濡れ対策が必要になります。

2. 雨天時にEF接合を行う際の注意点

清掃を行った後のEF接合部に水がかかると通電・融着時の温度上昇の妨げや水蒸気の発生により、融着不良が発生する可能性があります。

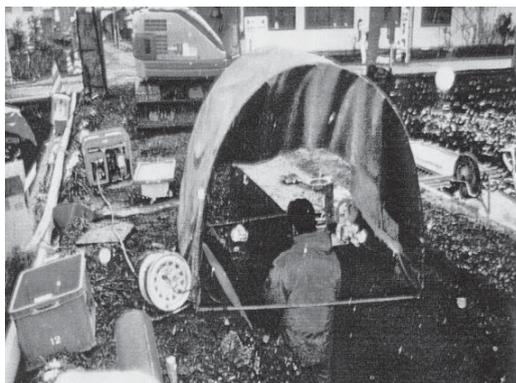
また、融着に用いるコントローラが濡れた状態で作業を行うと感電や装置故障の原因となります。



EF接合の構成

3. 雨天時のEF接合方法

雨天時にEF接合を行う場合には、テントなど



仮設テントによる雨天時施工



ビニールシートを利用した雨天時施工

により、雨よけを行うなど対策を講じてください。

4. 水場でのEF接合

地下水位の高い水場では、継手掘りを行い、ポンプなどを用いて、排水を十分に行うか、ポリエチレン管の柔軟性を生かして、溝内から接合部を引き上げるなどの対策を取り、EF接合部や機器が水に濡れない状態にして、施工を行ってください。また、水濡れを回避できない場合には、水道配水用ポリエチレン管用メカニカルソケットなどのメカニカル継手を用いて接合を行ってください。



水中ポンプを用いた施工



管を持ち上げての施工

(出典:水道技術ジャーナル 2018年10月)